

平成30年 県政の軌跡

I	県民と親しみ、県外に進攻した活動実績	1 頁
II	談合システムからの訣別と清潔な県政の実現	2
III	新しい県政の運営方法の導入	2
IV	ひとを育む	
	1. 未来を拓く子どもを育てる環境づくり	4
	2. みんなが活躍できる社会づくり	5
V	しごとを創る	
	1. 時代を先導するしなやかな産業構造の実現	11
	2. 県内企業の成長力強化	11
	3. 農林水産業の振興	16
	4. 観光の振興	16
	5. 時代の潮流を踏まえた産業の新しい発展	24
VI	いのちを守る	
	1. 自然災害への備え	26
	2. 医療の充実と健康の維持	28
	3. 安全な社会の実現	29
VII	くらしやすさを高める	
	1. 快適な生活環境の実現	30
	2. 支え合う福祉の充実	30
VIII	地域を創る	
	1. 活力と魅力のあるまちづくり	32
	2. 地域をつなぐネットワーク	33
○	平成18年12月以降の本県への企業立地動向	35

I 県民と親しみ、県外に進攻した活動実績

	1期目	2期目	3期目			
			就任9年目	就任10年目	就任11年目	就任12年目
	(H18.12.19～ H22.11.30)	(H22.12.1～ H26.11.30)	(H26.12.1～ H27.11.30)	(H27.12.1～ H28.11.30)	(H28.12.1～ H29.11.30)	(H29.12.1～ H30.11.30)
○県内から県庁を訪問 して下さったお客様	860 グループ	811 グループ	122 グループ	156 グループ	156 グループ	136 グループ
○県外から県庁を訪問 して下さったお客様	469 グループ	371 グループ	94 グループ	89 グループ	102 グループ	116 グループ
・国機関関係	101 グループ	100 グループ	16 グループ	22 グループ	16 グループ	21 グループ
・外国関係	52 グループ	60 グループ	13 グループ	22 グループ	19 グループ	26 グループ
○式典・大会出席挨拶	1170 回	1355 回	346 回	347 回	314 回	346 回
○講演・シンポジウム	114 回	125 回	26 回	46 回	43 回	47 回
○県内各地への 出張回数	404 回	465 回	121 回	78 回	82 回	81 回
○県外各地への 出張回数	263 回	251 回	68 回	56 回	65 回	57 回
・東京	102 回	93 回	34 回	26 回	29 回	28 回
・大阪	95 回	100 回	21 回	20 回	24 回	19 回
・他府県 (東京、大阪除く)	62 回	58 回	13 回	10 回	12 回	10 回
○海外への出張回数	6 回	10 回	4 回	3 回	3 回	3 回
○公用車の 走行距離	96,110 Km <small>(中国、スペイン、イタリア・フランス、ブラジル・ペルー、トルコ、中国)</small>	104,240 Km <small>(中国、アメリカ、香港・シンガポール、デンマーク・スペイン、タイ・オーストラリア、香港、インド、ブラジル、アメリカ、香港)</small>	25,021 Km <small>(インド・ベトナム、アメリカ・メキシコ・カナダ、イタリア、トルコ・スペイン)</small>	25,713 Km <small>(イタリア、インドネシア・香港、マレーシア・山東省)</small>	25,765 Km <small>(オーランド、台湾、ブラジル・アルゼンチン)</small>	23,855 Km <small>(中国、香港・インド、韓国・中国)</small>
○県内企業訪問	63 回	23 回	4 回	6 回	6 回	16 回
○国の要人との政策 議論・要望	173 項目 234 回	175 項目 254 回	56 項目 68 回	46 項目 80 回	60 項目 46 回	57 項目 40 回
○企業首脳トップ セールス	158 回	160 回	38 回	54 回	42 回	43 回

Ⅱ 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現

○入札制度の見直し

1. 「測量一般業務」及び「土木関係建設コンサルタント業務の簡易な構造物の設計等の業務」の業務を区分する予定価格の見直し(6月)

労務単価の上昇により予定価格が著しく上昇し、同じ内容の業務であっても金額により別区分での発注になり、小規模事業者の入札参加機会が減少しているため、「測量一般業務」・「土木関係建設コンサルタント業務の簡易な構造物の設計等の業務」の業務を区分する予定価格を改定

2. 総合評価落札方式における入札手続きの効率化(6月)

総合評価落札方式における客観的な採点を行う項目(具体の技術提案を除く)について、入札者が入札書と併せて提出している技術提案書類(4~5枚)に代わり、申告点数を入札者が自ら記入した申告点数表(1枚)を提出する方式へ変更することにより、入札者及び発注者の事務負担軽減並びに落札決定までに要する時間削減

3. 会社法改正等に伴う資本関係等のある複数の者の同一入札への参加制限の拡大(6月)

- ・「親会社と子会社の関係」及び「親会社を同じくする子会社同士の関係」である場合だけでなく、親会社に個人株主を加え「親会社等」とされ「親会社等と子会社の関係」及び「親会社等を同じくする子会社同士の関係」も参加制限の対象
- ・一方の管財人が他方の役員である場合だけでなく、一方の管財人が他方の管財人と兼任の場合も参加制限の対象
- ・共同企業体においては、代表構成員に関係する場合だけでなく、代表構成員以外の構成員同士の場合も参加制限の対象

4. 専門工事の入札参加条件の追加(6月)

- ・アスファルト舗装工事での施工機械(以下の①~③のいずれか)の自社所有又は将来的に所有権を得ることを前提とした契約の締結を入札参加条件に追加
 - ①アスファルトフィニッシャー+ロードローラー+タイヤローラー
 - ②アスファルトフィニッシャー+搭乗式振動ローラー(タンデム型)+タイヤローラー
 - ③アスファルトフィニッシャー+搭乗式振動ローラー(コンバインド型)
- ・塗装工事での資格者の現場配置を入札参加条件に追加
 - ①土木関係(鋼橋塗装工事)の塗装工事
元請業者所属の1級又は2級塗装技能士(鋼橋塗装作業)の現場配置
 - ②建築関係(建築塗装工事)の塗装工事
元請業者所属の1級又は2級塗装技能士(建築塗装作業)の現場配置

Ⅲ 新しい県政の運営方法の導入

- 知事が直接県民の皆様と意見交換する「和歌山県行政報告会」を開催
(平成30年(1月~12月)実績:35回)

- 「中期行財政経営プラン」に基づく行財政改革の取り組み

- ・職員数の見直し ▲155人
- ・事務事業の一層の見直し ▲9.1億円

- 組織改正(1月)

- ◇ 「世界津波の日」高校生サミット開催に向けた体制整備

「世界津波の日(11月5日)」の普及啓発の一環として、将来を担う高校生を対象とした国際会議である「世界津波の日」高校生サミットの本県開催の準備及び運営を行うため、世界津波の日高校生サミット推進室を設置

○ 組織改正(4月)

◇ 和歌山県データ利活用推進センターの開設に伴う体制整備

平成30年4月に開設した「和歌山県データ利活用推進センター」を運営していくため、データ利活用推進班を設置

◇ 全国健康福祉祭(ねんりんピック)開催に向けた体制強化

全国健康福祉祭(ねんりんピック)の2019年開催に向け準備を本格化するため、ねんりんピック推進室をねんりんピック推進課及び式典・事業室へ再編

◇ 子育てしやすい環境づくりを推進するための体制強化

少子化対策として、子育てしやすい環境づくりをより強力に推進していくため、子育て支援班と保育班に再編

◇ 国民健康保険制度改革の実施に伴う体制強化

国民健康保険制度改革に伴い平成30年度から県が財政運営の責任主体となるため、新制度に沿って適切な運営が行えるよう保険指導班と国民健康保険班を設置

○ 組織改正(9月)

◇ 統合型リゾート(IR)誘致推進に向けた体制整備

特定複合観光施設区域整備法の成立を受け、本県におけるIR誘致推進に向けた体制を整備するためIR推進室を設置

○ 人事異動(4月～)

- ・ 中央省庁等への派遣を推進 1府7省6庁に24名
- ・ 外国等への研修派遣を推進 6団体に11名
- ・ 近隣府県等との交流を推進 京都府、大阪府、兵庫県、鳥取県、関西広域連合に8名
- ・ 民間等との交流を推進 13団体に14名
- ・ 県と県内市町村等との人事交流を推進 9市町等に16名
- ・ 大学院等への研修派遣を推進 9名
- ・ 災害復旧応援(岩手県・熊本県・広島県・愛媛県) 16名

○ 平成31年度国の施策及び予算に関する和歌山県の提案・要望

- ・ 県の重点施策を推進する上で必要となる予算の確保や制度の創設・拡充に向け、関係省庁に対して提案・要望活動を実施
【提案・要望先】内閣府・内閣官房、総務省、法務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、警察庁

○ 新政策にかかる市町村長懇談会

平成31年度新政策の策定に向け、「平成31年度新政策と予算編成の方針」を提示し、市町村長と意見交換を行うことを目的に開催

- ・ 紀北地域・・・和歌山市、海南市、橋本市、有田市、紀の川市、岩出市、海草郡、伊都郡、有田郡
- ・ 紀南地域・・・御坊市、田辺市、新宮市、日高郡、西牟婁郡、東牟婁郡

IV ひとを育む

1. 未来を拓く子どもを育てる環境づくり

① 子どもが心豊かにたくましく育つ環境づくり

○ 学校給食及び教材用としての県産果実等の提供(6、7、10、11、12月)

地産地消の取組、県の伝統的な捕鯨文化及び鳥獣被害の現状への理解促進を図る取組として、県内小学校等の給食や家庭科等の教材として使用する、「うめ」、「もも」、「かき」、「みかん」、「魚」、「鯨肉」、「ジビエ」を提供

○ 平成30年度(第54回)「夏の子供を守る運動」(7、8月)

関係機関、団体、地域社会が一体となり、県民総ぐるみで夏期の青少年の非行防止、健全育成、有害環境の浄化、犯罪被害防止、水の事故・交通事故の防止を図り、すべての青少年が「明るく・正しく・たくましく」育つことを目的とした取組

○ 平成30年度「子供・若者育成支援県民大会」(10月)

「子供・若者育成支援強調月間」行事の一環として、子供・若者を正しく心豊かに育成する気運を醸成するため、「みんなで育てよう！和歌山の子供・若者 ～つなげよう 次世代へ育成の力を～」をメインテーマとして実施
場所：かつらぎ町

○ 子育て家庭への経済的支援

多子世帯の経済的負担を軽減するため、第2子以降の保育料の無償化を行う「紀州っ子いっぱいサポート」や第2子以降の0歳児を在宅で育児する場合に定額の助成を行う「在宅育児支援」を実施(第2子については所得制限あり)

○ 出会い・結婚の支援

全県的に男女の出会いの場を提供するため、婚活イベントを県で主催するとともに「わかやま婚活応援隊」や「わかやま結婚サポーター」が企画する婚活イベントを支援

○ 妊娠・出産、子育てに関する相談・支援体制の充実

妊娠期から子育て期にわたる様々な相談に対し、保健師等専門職が必要な情報提供・相談等をワンストップで行う「子育て世代包括支援センター」の設置を推進

○ 仕事と子育ての両立支援

放課後児童クラブやファミリー・サポート・センター事業など多様な保育事業を推進

○ 待機児童の解消

・介護事業内保育所の施設整備支援など保育所整備を推進
・保育人材確保に向けた、返還免除付き貸付事業等を実施

○ わかやま結婚・子育て応援企業同盟

仕事と子育てが両立しやすい社会の実現に向け、行政と企業が連携し、結婚や子育てについての社会気運の醸成を図ることを目的に結成し、平成30年12月末時点で331社まで参加規模が拡大

○ 地域が協力して子供と家庭を支える体制づくり

子供食堂など食事の提供を行う民間の取組を支援

② 子どもたち一人一人が志高く未来を創り出す力を育む教育の推進

○ 子ども統計プログラミング教室in和歌山(10月)

子供たちが統計を身近に感じ、統計に関心を持つことを目的として、子供向けプログラミングツールを使用し、統計的な考え方を学ぶ教室を総務省と共同で開催。

場所:和歌山県データ利活用推進センター、参加者(小学3~6年生の児童):45名

○ アジア・オセアニア高校生フォーラム(7月)

和歌山県内外、およびアジア、オセアニアの20の国と地域の生徒が一堂に会し「津波その他の災害」「環境」「観光・文化」「教育」等の課題について意見交換、プレゼンテーション等を実施。

日程:7月24日~29日

場所:県民文化会館等

○ 「世界津波の日」2018高校生サミットin和歌山(10、11月)

「世界津波の日」啓発イベントとして、地震津波等の災害から生命・財産を守る次世代リーダーの育成を図るため、世界各国の高校生を対象に「世界津波の日」高校生サミットを開催

日程:10月31日~11月1日

場所:和歌山ビッグホール

参加国数、参加者数:48か国、479名(日本を含む)

○ きのくにプログラミング教育フォーラム(8月)

インターネットやAIの発達に伴い高度情報化が進展する中、これからの社会を生き抜く子供たちに必要とされるプログラミング的思考の育成及びプログラミング教育の在り方について協議するとともに、実際にプログラミングを体験することを通じて指導方法等の研究に資するフォーラムを開催

・場所:和歌山県民文化会館 他、参加者数:410名

○ 平成30年度地域とともにある学校づくり推進フォーラム(コミュニティ・スクール全国フォーラム)(8月)

「ふるさとの未来を託せる子供を育てるために」をテーマに、ディスカッションやシンポジウムを通して、コミュニティ・スクールで何ができるのかについて考えるフォーラムを開催

・場所:和歌山県民文化会館、参加者数:約800名

○ 第7回和歌山県高校生英語ディベート大会(10月)

日頃の英語の学習成果を発表する機会を提供し、物事を多角的な視点からとらえる態度を育成するとともに、ディベート活動をとおして生徒の英語コミュニケーション能力の向上を図ることを目的に実施

・場所:和歌山県民文化会館、参加者数:51名

○ 平成30年度きのくに科学オリンピック(10月、11月)

科学に関心のある高校生が切磋琢磨する場を設け、科学や理数系分野への学習意欲の一層の向上を図り、科学技術の発展を担う人材を育成することを目的に実施

・場所:和歌山市中央コミュニティセンター、参加者数:81名

○ 第7回わかちかやま高校生クイズin English(10月)

広く世界で活躍できる人材を育成するため、高校生等を対象に、英語に関する知識や和歌山県・日本・世界の事柄について、幅広く英語で質問するクイズ大会を実施

・場所:わかちか広場、参加者数:150名

2. みんなが活躍できる社会づくり

① 誰もが働きやすく、多様な人生を楽しめる社会づくり

○ 秋期特別展「黒潮の海に糧をもとめて ―古墳時代の海の民とその社会―」(9月)

海を生活の基盤として漁撈や製塩を行っていた海の民は、黒潮を利用して他地域と交流し、中央政権や在地首長と深く関わってきた。本展では、海の民の姿を古墳時代を中心とした海の生産用具と関連遺物から紹介

・場所:県立紀伊風土記の丘

○ 第2回わかやまリレーマラソン ～パンダRUN～(12月)

誰もがスポーツにふれ合うことができる機会を創出し、多くの方々にスポーツに親しんでもらうことを目的に開催

・場所: 田辺スポーツパーク、参加者: 約1,800名

○ 和歌山県庁舎80周年記念見学会(4月)及びシンポジウム(12月)の開催

和歌山県庁舎本館は昭和13年(1938)に建設され、平成30年に80周年を迎えた。これを記念し、かつて竣工式が行われた同日の4月15日に見学会を開催。12月24日には記念シンポジウム「和歌山県庁舎をつくった人びと」を県立近代美術館で開催

○ 特別展「西行一紀州に生まれ、紀州をめぐる」を開催(10月～11月)

紀州が生んだ歌人西行にまつわる文化財をその足跡とともに紹介。入館者数: 11,198人

・場所: 県立博物館

○ わかやま元気シニア生きがいバンク

ボランティアやNPO活動など社会参加を希望する高齢者と、意欲のある高齢者を活用したい団体・企業をマッチングさせる「わかやま元気シニア生きがいバンク」を実施

② 共に支えあう地域社会づくり

○ NPO活動の支援

県民の主体的な地域活動への参加を促進するため、NPOサポートセンターにおいて、NPOの設立・運営の相談や各種講座・研修(8月: NPO・ボランティアのための助成金獲得講座、9月: 災害×NPO・ボランティア研修、9～10月: NPO基礎講座)等を実施。また、情報誌の発行(奇数月・年6回)、出張相談(毎月4回)等を実施

○ 知事の香港・インド訪問(1月)

香港では、本県と提携する香港貿易発展局のマーガレット・フォン総裁と会談を行うとともに、県産品の販路拡大と観光客誘致を目的としたトップセールスを実施。

インドでは、本県とマハラシュトラ州との交流をより一層強化するため、同州との間で平成25年10月に締結した「相互交流に関する覚書」を更新。また、本県の観光地や企業をPRするためプロモーションを行うとともに、参加企業とインド企業とのビジネスマッチングを実施

○ 知事の韓国・中国訪問(4月)

韓国では、観光客誘致を目的とした観光セミナー及びトップセールスを実施するとともに、和歌山にゆかりのある達(たる)城(そん)韓日友好館(大邱(てぐ)広域市達城郡)を訪問。

中国では、北京市及び山東省済南市において、現地旅行会社、メディア及び県内事業者と商談会を行うとともに、山東省長と会談で今後の交流について意見交換等を実施

○ 副知事・県議会議長ペルー移住110周年記念式典参加(10月)

◇ペルー関係 (日程: 10月13日～15日)

和歌山県民がペルーに移住してから110周年となることを記念したペルー和歌山県人会の式典に出席。本県出身の方やその子弟、約110名の方々と今日の繁栄を築かれた先人の功績・遺徳を顕彰。

◇メキシコ関係 (日程: 10月10日～12日)

日墨両国の文化を継承する人材の育成を目標として運営されている学校を視察したほか、在メキシコ和歌山県人会と交流を図り、満80歳を迎えた県人会員及び功労者には表彰状を贈呈するとともに、本県出身者に対して激励を行った。

③ 健康で心豊かにすごせる社会づくり

○ 和田勇シンポジウムの開催(2月)

1964年の東京オリンピック実現に向けて各国に協力を要請し、開催に大きく貢献した「和田勇」の功績を顕彰し、広く全国の方々にPRするとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けての機運醸成を図るため、シンポジウムを開催

○ 明治150年シンポジウムの開催(12月)

明治元年(1868)年より起算して満150年に当たることを記念し、「明治と和歌山」をテーマに地域の歴史を見つめ直すシンポジウムを開催(来場者数:220人)

○ 第72回和歌山県美術展覧会(11月、12月)

洋画・日本画・書・写真・工芸・彫塑・華道の7部門からなる県内最大の公募による美術展覧会を巡回開催

上富田展 11月14日～18日 場所 上富田文化会館

新宮展 12月5日～9日 場所 新宮市立総合体育館

橋本展 12月15日～19日 場所 和歌山県立橋本体育館

(参考)本展 平成31年1月9日～13日 場所 和歌山県立近代美術館、県民文化会館等

○ 第4回和歌山県ジュニア美術展覧会(11月、12月)

絵画・書・立体の3部門からなる小・中学生を対象とした公募による美術展覧会を巡回開催

上富田展 11月14日～18日 場所 上富田文化会館

新宮展 12月5日～9日 場所 新宮市立総合体育館

橋本展 12月15日～19日 場所 和歌山県立橋本体育館

(参考)本展 平成31年1月16日～20日 場所 和歌山県立近代美術館

○ 南葵音楽文庫普及事業の実施(9月)

・ 紀南文化会館において南葵音楽文庫紀南講演会&演奏会を開催(来場者:170人)

・ 和歌山県立図書館においてシンポジウム 南葵音楽文庫～楽しみと学び～を開催(来場者:250人)

○ 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭に向けた準備

・ 和歌山県実行委員会 設立総会、第1回総会を開催(10月5日)

○ 第32回全国健康福祉祭和歌山大会(愛称:ねんりんピック紀の国わかやま2019)開催に向けた準備

・ 大会マスコットキャラクター「きいちゃん」のLINEスタンプの販売を開始(2月)

・ 大会公式WEBサイトを開設(3月)

公式WEBサイトの開設に合わせ、メールマガジンの配信及びSNSによる情報発信を開始

・ 実行委員会 第2回総会・第2回常任委員会を開催(6月)

・ 実施要綱案及び総合開会式・閉会式基本計画等を決定。併せて広報キャラバン隊及び大会テーマソングを披露(6月)

広報キャラバン隊:開催機運の醸成を図るため、お笑い芸人「すみたに」と新たに登場した「エアーきいちゃん」を中心に、各種イベントでねんりんピックを
広報

大会テーマソング:「明日へと」(ウインズ平阪作詞・作曲)

・ 企業協賛の募集を開始(7月)

大会の開催趣旨に賛同していただける企業・団体の協賛金等の募集を開始

- ・ 大会啓発ウェアの販売を開始(8月)
 - ・ 大会公式ピンバッジの販売を開始(9月)
広報グッズの一環として、蝶タックピン型のピンバッジを9月から、マグネット型のピンバッジを10月から順次発売
 - ・ 大会ボランティアの募集を開始(9月)
大会参加者をおもてなしの心で暖かく歓迎し、大会運営をお手伝いいただくボランティア、延べ1,800名の募集を開始
 - ・ ねんりんサポーター及び応援大使を委嘱(10月)
広報活動を支援して頂くため、情報発信力の高いねんりん世代の県民27名を「ねんりんサポーター」に、お笑いコンビ「わんだーらんど」を「応援大使」に委嘱
 - ・ ねんりんピック富山2018総合閉会式に知事が出席し、大会旗の引継を受ける(11月)
 - ・ 開催1年前記念イベントを実施(11月)
開催1年前記念イベントとして、紀三井寺公園周辺において「スポGOMI大会」を、また、WBS和歌山放送ラジオまつりにおいて、「瀧益生 & Goodman」による記念ステージを開催
 - ・ きいちゃんダンスコンテスト参加者の募集を開始(10月)
大会テーマソングのダンスコンテスト参加者をWEB等で募集
12月に予選を実施し、平成31年1月に決勝大会をイオンモール和歌山で開催
- 【再掲】第2回わかやまリレーマラソン ～パンダRUN～(12月)
誰もがスポーツにふれ合うことができる機会を創出し、多くの方々にスポーツに親しんでもらうことを目的に開催
・場所: 田辺スポーツパーク、参加者: 約1,800名
- ワールドマスターズゲームズ2021関西 1000日前記念カウントダウンボード設置(8月)
・ ワールドマスターズゲームズ2021関西、開催1000日前を記念して、スポーツを「する・みる・ささえる」全ての人によるスポーツ1000言(宣言)をカウントダウンボードにて掲載。(2021年5月30日まで)
- ワールドマスターズゲームズ2021関西開催に向けた準備
ワールドマスターズゲームズ2021関西本県開催競技の競技別実施要項について、組織委員会に中間提出(6月)・最終提出(10月)を行った。また、大会に向けた機運醸成、県民の参加促進を促すことを目的とし、「ワールドマスターズゲームズ2021関西 TSUNAGU in わかやま」を開催した。(約600名参加)
- さあ スポーツだ!プロジェクトの実施
・ 【再掲】第2回わかやまリレーマラソン～パンダRUN～を田辺スポーツパークで開催し、193チーム約1,800人が参加(12月)
・ 7競技のマスターズスポーツ体験会を県内各施設で実施し、約1,600人が参加
- 第17回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会開催(2月)
- オリンピック等のキャンプ誘致
・ 女子ラグビー7人制日本代表が上富田スポーツセンターで強化合宿を実施(4、7月)
・ サッカーJリーグヴィッセル神戸が上富田スポーツセンターで合宿を実施(6月)
・ ラグビーワールドカップ2019公認キャンプ地に和歌山県・上富田町が決定(7月)
【受入国アフリカ地区代表ナミビア】
・ カナダ競泳チームが東京パンパシフィック水泳選手権2018の事前合宿を秋葉山県民水泳場で実施(7、8月)
・ オーストラリア陸上チーム(競歩ジュニアチーム・パラチーム)の合宿を紀三井寺公園陸上競技場で実施(7、8月)
・ 男子ラグビー15人制日本代表(NDS/RWCTS)が上富田スポーツセンターで合宿を実施(9月)

○ 第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」において、本県選手団は27位に(10月)

第73回国民体育大会(福井しあわせ元気国体)成績

- ・ 男女総合成績(天皇杯) 912.5点 第27位
- ・ 女子総合成績(皇后杯) 466点 第36位

○ 和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト

本県から将来オリンピック等の国際舞台で活躍できる競技者を輩出することを目的とし、現在105名のゴールデンキッズを養成

○ 平成30年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)ヨット競技大会開催(8月)

高校生スポーツの最大の祭典であるインターハイを東海4県(三重県、岐阜県、静岡県、愛知県)と本県ではヨット競技大会を開催(固定開催は4回目)

会場:和歌山セーリングセンター 選手・監督:422名 観客数:約2,000名

○ 第1回和歌山県障害者作品展(10月~12月)

文化芸術活動を通して障害のある人の社会参加を図るとともに、障害のある人とない人が交流することで障害に対する理解と認識を深めることを目的とした作品展を開催

【地方展】

紀中・紀南地方展	期間	10月17日~21日	場所	白浜町立総合体育館
和歌山・海草地方展	期間	11月8日~13日	場所	和歌山市北コミュニティセンター
那賀・伊都地方展	期間	11月23日~28日	場所	かつらぎ総合文化会館

【優秀作品展】

期間 12月5日~10日
会場 和歌山県民文化会館

④ 人権尊重社会の実現

○ 講演会「企業における人権」(1月)

県内の中小企業等に対して、企業の社会的責任としての人権尊重の理念を普及させ、人権意識の涵養を図ることを目的として講演会を実施

○ 「人権感覚を育てよう」プログラム講師養成セミナー(6月)

幼児期に「思いやり」や「いたわり」の心を育み、人権を尊重できる子供を育てることを目的とした幼児向け人権啓発プログラム「人権感覚を育てよう」プログラムを保育所や幼稚園等で実施できるファシリテータを養成

○ スポーツ団体との連携ワークショップ 車いすバスケ人権教室(7月)

車いすバスケを体験し、障害のある人との交流を通じて障害について正しい理解を深めることを目的として人権教室を開催

○ 同和運動推進月間特別講演会 (11月)

同和問題について正しい理解と認識を深め、一日も早い解決を図ることを目的として講演会を実施

○ 同和運動推進月間／人権を考える強調月間(11月)

県民の人権意識の普及・高揚を図るため、11月1日から11月30日までを「同和運動推進月間」、11月11日から12月10日までを「人権を考える強調月間」として、各種取組を実施

○ ふれあい人権フェスタ2018(11月)

人権に関する問題について、県民の理解と関心を深め、人権意識を普及・高揚を図ることを目的として、NPOや関係機関と協働してフェスティバルを開催

- 「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」新規締結(12月)
県内の企業、NPO等の団体と県が協働して人権啓発活動を積極的に展開するため、「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」を締結
- りいぶるフェスタ2018(11月)
男女共同参画の推進に向けた県民意識の醸成を目的としてふれあい人権フェスタと同時開催。
場所:和歌山ビッグホエール

V しごとを創る

1. 時代を先導するしなやかな産業構造の実現

○ 和歌山県工業技術センターオープンラボ棟リニューアルセレモニー(5月)

県工業技術センター内に、最新の研究設備や機器等を集約した4つの「オープンラボ」を整備したことを受け、県内企業経営者や業界団体関係者等を招いた記念式典を開催
参加者:約120名

2. 県内企業の成長力強化

① 中小企業の競争力強化

○ 第10回プレミア和歌山推奨品発表内覧会(2月)

安全・安心を基本に、幅広い分野で優れた県産品等を“和歌山らしさ”“和歌山ならではの”の視点で推奨する、和歌山県優良県産品『プレミア和歌山』推奨制度の第10回認定品発表会を実施

○ ロボカップジュニア・ジャパンオープン2018 和歌山大会(3月)

次世代を担うジュニアに対し、ロボットの設計・製作を通じてものづくりの重要性や知的好奇心を抱かせるとともに、人間としてのコミュニケーション力と協調性を培うことを目的とし、「ロボカップジュニア・ジャパンオープン2018 和歌山大会」を今年度初めて開催
場所:和歌山ビッグホエール、参加者数:208チーム(海外9チーム含む)

○ 「和歌山県事業承継ネットワーク」キックオフ会議(7月)

県内の中小企業支援機関による事業承継支援体制を発足

○ わかやまネット通販フォーラム(7月)

県内事業者のEC(電子商取引)市場への新規参入、競争力強化、売上拡大を図るためのフォーラムを開催

○ 経済産業省と和歌山県との下請等中小企業者の取引条件改善に向けた連携協定締結式(7月)

県内の下請等中小企業者の取引条件改善を目的に、国が実施している下請Gメンと連携した聞き取り調査を行い取引実態を把握するとともに、不当な取引慣行に対しては、国に情報を提供することで、業界に対し国が改善要請を行うなど下請取引の適正化を一層推進するため、全国で初めて連携協定を締結(締結式には世耕経済産業大臣、仁坂知事が出席)

○ ～県内の老舗～ 「和歌山県100年企業」の表彰式開催(7月)

時代の変遷の中にあって、県内で100年以上にわたり伝統の技術や事業を守り、継承することによって本県の経済発展に貢献し、かつ他の企業の模範となってきた「長寿企業」を表彰
場所 ホテルアバローム紀の国
表彰企業数 29社

○ クラウドファンディング活用セミナー(8月)

創業や第二創業、新事業展開を目指す方等を対象として、クラウドファンディングを活用した資金調達方法を学ぶセミナーを実施

○ きのくにロボットフェスティバル2018(12月)

小中学生がロボットコンテストへの参加を通じ、また高専ロボコン優秀校や企業の最先端ロボットにふれることを通じて、科学技術への関心を高め、将来のものづくりを支える人材を育成するために開催
場所:御坊市立体育館、参加チーム:84チーム

○ BCP(事業継続計画)策定ワークショップ(1、8、10、11月)

県内中小企業を対象に、災害時等緊急事態における被害を最小限に食い止める為、訓練を通じた体験型ワークショップを開催

- ・ 1月<和歌山> 場所:東京海上日動火災保険(株)和歌山支店、参加者:8社8名
- ・ 1月<田辺> 場所:東京海上日動火災保険(株)田辺支社、参加者:6社6名
- ・ 8月<和歌山>場所:東京海上日動火災保険(株)和歌山支店、参加者:12社15名
- ・ 10月<和歌山>場所:損保ジャパン日本興亜(株)和歌山支店、参加者:25社28名
- ・ 11月<田辺> 場所:東京海上日動火災保険(株)田辺支社、参加者:6社8名

○ キャッシュレスセミナーの開催(11月)

キャッシュレス環境の整備を推進し、特に増加する中華系旅行者の消費額の拡大に向けてキャッシュレスセミナーを県内3箇所で開催

- <和歌山> 11月12日
- <西牟婁> 11月13日
- <東牟婁> 11月14日

○ ベトナム商工省と覚書(MOU)を締結(10月)

和歌山県とベトナム商工省が機械製造、金属加工、化学、繊維、情報通信など様々な産業分野において、相互の企業間交流や貿易振興、人材育成で連携・協力することに合意

○大型展示会・商談会等の集団出展

◇見本市等への出展

【国内】

- ・「インターネフコンジャパン」への集団出展(1月)
- ・「第98回東京レザーフェア」への集団出展(5月)
- ・「日本ものづくりワールド2018(第22回機械要素技術展)」への集団出展(6月)
- ・「関西ものづくりワールド2018(第21回関西機械要素技術展)」への集団出展(10月)
- ・「第86回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2018」への集団出展(9月)
- ・「IFFT/インテリアライフスタイルリビング2018」への集団出展(11月)
- ・「第99回東京レザーフェア」への集団出展(12月)

【海外】

- ・「メゾン・エ・オブジェ」(フランス・パリで開催されたホームファッションの国際見本市)への集団出展(1月)
- ・「マグネティック・マハラシュトラ」(インド・マハラシュトラ州で開催された多業種国際見本市)への集団出展(2月)
- ・「ミラノ・ウニカ」(イタリア・ミラノで開催されたテキスタイルの国際見本市)への集団出展(7月)
- ・「第1回中国国際輸入博覧会」(中国・上海で開催された国際総合見本市)への集団出展(11月)
- ・「メタレックス2018」(タイ・バンコクで開催された金型・金属加工機械等の国際見本市)(11月)
- ・「マニュファクチャリング・インドネシア」(インドネシア・ジャカルタで開催された機械の国際見本市)(12月)

② 新たな産業の創出

○親子ワーケーション(7月)

情報通信技術(ICT)を活用し、リゾート地等で働きながら休暇等をとる新しい働き方の一つである「ワーケーション」を推進するため、首都圏企業の社員とその子供(主に小学校低学年)を対象に県が「親子ワーケーションプログラム」を2日間、実施提供。当該プログラム参加親子は、3泊4日以上行程で本県でワーケーションを実施

場所:田辺市、白浜町、参加者数:親子14組、36名

○ 企業誘致の推進

- ・平成30年1月以降新たに15社の企業立地が決定（＊37頁参照）
- ・「和歌山テレワークフォーラムin東京」開催（7月）
場所：千代田区丸の内ビル、参加者：110名
- ・「和歌山IT企業誘致フォーラムin東京」開催（10月）
場所：千代田区大手町パークビル、参加者：160名

○ 第6期わかやま塾の開講（6月）

将来和歌山県を支え、世界にはばたくグローバル人材の育成を目的に、50歳未満の県内企業の経営者等69名を対象にした「第6期わかやま塾」を開講

○ 創業気運の醸成

創業者発掘及び創業気運醸成を目的に、和歌山で創業する魅力を発信するセミナーを開催

わかやまでベンチャー

- ・in 大阪（1月） 場所：コングレコンベンションセンター、参加者：85名
- ・in 大阪（11月） 場所：コングレコンベンションセンター、参加者：57名
- ・in 東京（12月） 場所：フクラシア丸の内オアゾ、参加者：59名

創業セミナー

- ・in 和歌山（6月） 場所：和歌山大学システム工学部、参加者：103名
- ・in 田辺（6月） 場所：和歌山県立情報交流センター、参加者：56名

○ スタートアップ創出支援チームとのマッチングイベント

県経済を牽引できるようなシンボリックなベンチャー企業の創出を目指し、6者の創業者・第二創業者とスタートアップ創出支援チーム29団体とのマッチングを実施

○ 平成30年度「ヘルスケア産業ビジネスプラン」プレゼンテーション大会開催（6月）

わかやまヘルスケア産業革新プラットフォーム会員に対しビジネスプランを募集し、そのプランを実現するためのパートナーや支援者を探すためのプレゼンテーション大会を実施

場所：県民文化会館 参加者：65名（47団体） 提案者：7団体

③ 産業を支える人材の育成・確保

○ 女性活躍企業同盟「平成29年度 女性活躍推進賞」表彰式・交流会の開催（2月）

企業同盟の参加企業・団体（以下、「企業等」という。）及び企業等の従業員を対象に、女性の能力が十分に発揮できる取組が他の模範となるような企業等及び個人を表彰。併せて、受賞企業等の取組事例を基調にして、交流会を開催

○場 所 アバローム紀の国 2階 鳳凰の間

○対 象 者 企業同盟参加企業等、同盟に参加を検討している企業等

○表彰企業等（50首順）

- ・株式会社紀陽銀行
- ・損害保険ジャパン日本興亜株式会社
- ・太洋工業株式会社

○ 階層別セミナーの開催(7月～)

企業同盟参加企業等の経営層、管理職、人事担当者、管理職をめざす女性従業員、若手女性従業員等を対象に、女性活躍の取組を促進するためのセミナーを開催

- ・ トップセミナー(7月)
経営層・経営幹部等を対象に、女性活躍の必要性について、企業トップの理解を深める。
- ・ 女性リーダー養成セミナー(9月、10月)
管理職をめざす女性従業員を対象に、管理職として自分らしく活躍する自信とモチベーションを高める。
- ・ 女性キャリアデザイン講座(9月、10月)
若手女性従業員を対象に、仕事を通じて実現したい将来像やそれに近づくプロセスを明確にするなど、意識を高める。

○ 「女性活躍企業同盟会報誌」によるPR(5月、12月)

女性活躍企業同盟の取組や表彰企業等の優れた取組を紹介する会報誌を作成。参加企業等に配布するほか、新規参加企業等の拡大に活用している。

○ 「わかやま結婚・子育て応援企業同盟」表彰式・交流会の開催(2月)

企業同盟の参加企業を対象に、結婚・子育てを応援する取組が他の模範となるような企業等を表彰。併せて、受賞企業等の取組事例を基調にして、交流会を開催。

- 場 所 アバローム紀の国 2階 鳳凰の間
- 対 象 者 企業同盟参加企業、参加を検討している企業
- 表彰企業
 - ・ 株式会社島精機製作所
 - ・ 社会福祉法人つわぶき会
 - ・ 太洋工業株式会社
 - ・ 太陽シールパック株式会社

○ 「わかやま結婚・子育て応援企業同盟参加企業紹介BOOK」の作成・配布(3月)

子育て環境の整った和歌山の企業・団体を知っていただき、ふるさと和歌山で仕事と家庭を両立した充実した日々を過ごしてもらうため、「わかやま結婚・子育て応援企業同盟」に参加する企業等の取組などをまとめた紹介冊子を作成し、県外の和歌山県出身大学生等に配布。

- 配布対象
 - ・ 県外の和歌山県出身大学生
 - ・ 県内の大学・高等教育機関の学生
 - ・ 一般求職者
- ※ 学生は、就職活動を行う4年生の他、3年生にも配布(4年制の場合)
- 配布部数 15,000部

○ 「仕事と子育て両立支援セミナー」の開催(10月)

仕事と子育ての両立期の諸問題等について、実例を交えた講義と、子育て世代が働きやすい職場環境を考えるグループワークを実施。

場 所 和歌山県自治会館 2階203

対象者 わかやま結婚・子育て応援企業同盟参加企業の従業員で子育て中の方(30名、20社)

※ グループワークで提案された取組を、参加企業にフィードバックし、企業内で検討の上、総務・人事管理責任者による実現化に向けた意見交換会を平成31年2月に実施予定

○ 和歌山就活サイクルプロジェクト 2月の就活強化月間 合同企業説明会開催(2月)

結婚や出産等で離職した女性、定年退職された方、都会で働く人等に再就職等に関する情報を届け、2月を「就活強化月間」と定め、4月の就職を目指す「就活サイクルプロジェクト」の合同企業説明会を県内3か所で開催

- ・ 参加企業174社、参加者341名

○ 非正規社員の正社員化に取り組む企業支援

社員の多様な働き方を尊重したうえで、正社員を希望する非正規社員の中で会社の成長のために必要な人材を正社員化する企業に取組を支援

- ・ 講演・討論会「非正規社員の正社員化に向けて ～働く人の多様な働き方と会社の成長のために～」開催(10月)
- ・ 企業向け相談窓口開設(10月)
- ・ 企業向けセミナー開催(11月)
- ・ 従業員向け意識向上研修及びITスキルアップ研修実施(12～3月)
- ・ 資格取得に係る受験料助成(12月～)

○ 企業等と連携したICT教育がスタート(10月)

県内中学校、高校のパソコン部や科学部などICT教育に熱心に取り組む部活動に対し、プログラミングやアプリ開発など高度で専門的な能力をさらに伸ばすために、情報・IT関連企業から技術者を指導者として派遣

派遣先 中学校7校(紀北3、紀南4)、高校7校(紀北5、紀南2)
協力企業17社

○ 若者の県内就職・定着の促進

- ・ 産業を支える人づくりのため、県内5工業高校(和歌山工業高校、紀北工業高校、箕島高校、紀央館高校、田辺工業高校)において企業と連携したさまざまな人材育成の取組を実施
- ・ 全ての高校において企業経営者等による講話や企業見学会など企業との連携による取組を進め、生徒や保護者に地元企業の魅力を伝え、県内就職を促進
- ・ 応募前企業ガイダンスin紀南2018(5月)
- ・ 応募前サマー企業ガイダンス2018(6月)
- ・ 経済5団体に対する新規高等学校等卒業予定者に係る求人確保の要請(5月)
- ・ 大学と就職支援協定を締結(5月に桃山学院大学と協定を締結)
- ・ 優秀な理工系・情報系人材を確保できるよう、県内企業に就職した学生に奨学金の返還金を助成

○ 産業技術専門学院の機能強化

- ・ 和歌山校:デジタルものづくり訓練を強化するため、前年度に導入したマシニングセンタ対応のCAMソフトを配置(12月)
- ・ 田辺校:情報システム科を情報交流センターBig・U内に新設(4月)。自動車工学科の実習場改修(12月)

○ 「紀の国わかやま戦略的成長力強化分野雇用創造プロジェクト」を推進

第二次和歌山県産業技術基本計画で重点支援する戦略的分野を中心に、企業に対する事業拡大や人材確保の支援、及び求職者に対する就労支援等を実施し、新たな雇用を創出

- ・ 雇用創出目標 3年間で341人

○ 若者・女性の雇用対策の推進

- ・ わかやま就職フェア2018(1月、11月)
- ・ わかやまテレワークフェア～先輩ワーカーとの交流会～(2月、6月)
- ・ わかやま就職フェアin大阪(3月)
- ・ わかやま就職フェアin東京(3月)
- ・ Uターンフェア(4月、8月)
- ・ 和歌山県U・Iターン就職フェアin大阪(6月)
- ・ 紀の国ものづくり就職フェア(7月、10月)
- ・ テレワーカー養成研修(7月)
- ・ テレワーカー集いの場(8～3月)
- ・ UIターン就職セミナー「和歌山で就職しよう！」(9月、11月)

○【再掲】多様な働き手の確保(和歌山就活サイクルプロジェクト)

結婚や出産等で離職した女性、定年退職された方、都会で働く人等に再就職等に関する情報を届け、2月を「就活強化月間」と定め、4月の就職を目指す第2の就活サイクルを構築

- ・ 県内3か所で合同企業説明会の開催(2月)
- ・ プロジェクト参画企業の採用情報を再就職支援センターのホームページに掲載(10月～)

3. 農林水産業の振興

① 農業の振興

○ 国内百貨店等での和歌山フェア開催(通年)

- ・ 東急百貨店吉祥寺店「和歌山フェア」開催(2月)
- ・ 東京ガーデンテラス紀尾井町「わかやまフェア」開催(2月)
- ・ 山形屋百貨店「第7回いいね！納得！紀伊半島 三重・和歌山・奈良の物産展」開催(2月)
- ・ 高島屋日本橋店「わかやま味わい市」開催(3月)
- ・ そごう横浜店「和歌山フェア」開催(7月)
- ・ 阪急うめだ本店で「和歌山の桃フェア」開催(7月)
- ・ 三越日本橋本店で柿・水産物のフェア開催(10月)
- ・ 銀座三越「和歌山フェア」開催(11月)
- ・ JR大阪駅「ココ・カラ。和歌山マルシェ」開催(11月)
- ・ 伊勢丹新宿本店「和歌山フェア」開催(11月)
- ・ クイーンズ伊勢丹でみかん・柿の販売促進(11月)
- ・ JR大阪駅「ココ・カラ。和歌山マルシェ」開催(11月)
- ・ あべのハルクス近鉄本店「和歌山フェア」開催(11月)

○ 食品メーカー等との協働による需要の開拓(通年)

- ・ 県産「南高梅」果汁を使用した「三ツ矢梅」がアサヒ飲料(株)からリニューアル発売(2月)
- ・ 日本ルナ(株)が「バニラヨーグルト 和歌山県産有田みかん」を発売(9月)
- ・ サンヨー食品(株)が県産醤油を使用した「サッポロー番 名店の味」カップ麺を新発売(9月)
- ・ カゴメ(株)が「野菜生活100有田みかんミックス」を昨年に続き発売(11月)
- ・ ダノンジャパン(株)が県産「あんぽ柿」使用のヨーグルトを新発売(11月)

○ 有害鳥獣対策(通年)

野生鳥獣による被害を減少させるための捕獲、防護、育成、環境整備を総合的に推進

○ わかやま農産物安心プラス事業を推進(通年)

平成30年度認証 14団体32品目(果樹11、野菜20、米1)

○ 農地流動化の推進(通年)

農地中間管理機構と本県独自に各地域に設置した農地活用協議会の一体的な取組を加速させ、平成26年からの累計で427haの農地貸借を仲介

○ ふるさと祭り東京2018(1月)

一般消費者向けイベントとして集客数が多く、メディア等で高いPR効果が期待される「ふるさと祭り東京2018」に出展

・会場:東京ドーム、参加事業者数:11業者、来場者数:421,413名

- 第12回わかやま産品商談会in大阪(2月)
 - 県内の事業者が自慢の商品を出展、関西地域の百貨店や卸問屋等を中心としたバイヤーが来場し、商談を実施
 - ・場所:大阪マーチャンダイズ・マート、参加事業者数:78業者、来場者数 503名
- 第52回スーパーマーケット・トレードショー2018(2月)
 - 食品スーパーマーケットを中心とする流通業に最新情報を発信するプロ向け専門展示会へ出展
 - ・場所:幕張メッセ、参加事業者数:30業者、来場者数 88,121名
- わかやまジビエフェスタ 2017-2018(12~2月)
 - 県内で獲れた野生のイノシシ、シカ肉を参加飲食店等で「ジビエ料理」として楽しむイベント
 - ・場所:県内飲食店・宿泊施設50店舗
- 農林水産業競争力アップ技術開発 平成30年度新規研究テーマの決定(3月)
 - キヌサヤエンドウのハナアザミウマ防除対策など11テーマを決定
- 6次産業化交流会(3月)
 - 6次産業化に取り組むまたは取り組もうとしている農林漁業者等を対象とした講演会および交流会を開催
 - 場所:アバローム紀の国、出席者:82名
- 資生堂パーラー銀座本店 サロン・ド・カフェにてまりひめを使ったパフェ提供(1月、3月)
 - 資生堂パーラー銀座本店 サロン・ド・カフェにて和歌山県産まりひめのパフェ販売
 - ・場所:資生堂パーラー銀座本店
- FOOD EX JAPAN 2018(3月)
 - アジア・環太平洋地域で最大規模の食品・飲料の国際展示商談会へ出展
 - ・場所:幕張メッセ、参加事業者数:18業者、来場者数:72,428名
- 「わかやま農林水産業支援ナビ」開設(5月)
 - 農林水産業の支援策が検索できるWEBサイトが完成
- 和歌山県産梅のトップセールス(6月)
 - 梅の日(6月6日)に伴い、東京都中央卸売市場(大田市場)において市場関係者等に和歌山県産の梅をPR
- 資生堂パーラーにて和歌山県の桃、いちじくを使ったパフェ提供(7月、8月)
 - 資生堂パーラー サロン・ド・カフェにてあらかわの桃のパフェと紀の川市産いちじくのパフェ提供
- 「みのりみのるマルシェ」開催(7月)
 - 「みのりみのるマルシェ」を開催。桃、新しょうが、ハウスみかんなどの県産農産物をPR
 - ・場所:JR大阪駅アトリウム広場
- 和歌山食材テロワール事業園地視察・交流会(7月、11月)
 - エコール辻 大阪(辻調グループ)の学生及び関係者約60名を招き、しもつ蔵出しみかんの産地視察と摘果(7月)、収穫(11月)作業体験を実施
- 香港フードエキスポ2018(8月)
 - 県内事業者の海外販路開拓支援のため、アジア最大級の食品見本市「香港フードエキスポ2018」へ出展
 - ・場所:香港コンベンション&エキシビジョンセンター、参加事業者数:8業者、来場者数:510,000名

○ 外食ビジネスウィーク2018(8月)

外食業界に特化した国内最大級の展示商談会へ出展
・場所:東京ビッグサイト、出展事業者数:16業者、来場者数:51,657人

○ 6次産業化人材育成研修会・個別相談会(9月)

6次産業化に取り組むまたは取り組もうとしている農林漁業者を対象とした研修会および6次産業化プランナーによる個別相談会を開催
場所:和歌山ビッグ愛、(研修会)出席者:50名、(個別相談会)8事業者

○ わかやま健康と食のフェスタ2018(10月)

健康推進や食育に携わる団体、企業等と連携し、健康に関する特色のある活動の紹介や自らの健康状態を把握できる体験の場を提供することで、県民の健康意識の高揚を図り、健康寿命の延伸につなげるとともに、県の農畜水産物や郷土食などを知ることによって和歌山のすばらしい食を実感し、食育・地産地消を推進する。本年度は、参加団体を拡充し、67団体で開催するとともに、新たに県内全市町村の健康づくりの取組紹介、さらに、ニュースポーツ体験やウォーキング講座・ウォーキング体験などを実施
・場所:和歌山ビッグウエーブ、来場者:8,000人

○ 「わかやま紀州館mini」1号店が株式会社乗馬クラブ クレイン大阪にオープン(11月)

全国に向けて和歌山県産品の魅力をPRし販売促進を図るアンテナショップ「わかやま紀州館mini」の1号店が、株式会社乗馬クラブ クレイン大阪(大阪府羽曳野市)にオープン

○ わかやまスマート農業セミナー(11月)

オランダ農業の強みの紹介と県農業への適用の提案、スマート農業関連メーカー(ICTやロボット技術等)からの情報提供等を行うセミナーを開催
来場者数:紀北会場(かつらぎ町総合文化会館)200名、紀南会場(印南町公民館)120名

○ 中晩柑新品種「はるき(仮称)」を育成し、新品種として登録出願(12月)

果樹試験場において栽培性に優れ食味がよい中晩柑新品種を開発

○ みかん厳選出荷の取組推進

温州みかんの市場価値を高めるため、JAグループと連携し、厳選出荷の取組を推進
【H27 厳選出荷取組後、産出額(H29:335億円)が3年連続で全国1位、販売単価(H29:304円/kg←H26:191/kg)が3年連続上昇】

② 林業の振興

○ 和歌山県森林・林業総合戦略の推進(通年)

素材生産量の増大に主眼を置き、策定(計画期間H29~H33)

○ WOODコレクション(モクコレ)2018(1月)

東京都が推進する「ALL JAPAN&TOKYOプロジェクト」の一環として開催される地域材を活用した建材や家具などの製品展示会に出展
・場所:東京ビッグサイト

○ 木と住まいの大博覧会(2月、8月)

展示会に出展し、紀州材のPRを実施
・場所:東京ビッグサイト、京都パルスプラザ

○ 平成29年度きのくにわかやま木造塾 閉校式(2月)

非住宅建築物の木造化を促進するため、県内の建築士を対象とした連続講座を開催し、全日程に出席した8名に修了証書を交付

○ わかやま木の家コンテスト表彰式(2月)

コンテストによって選ばれた紀州材で建築された住宅の受賞者に対し、表彰状を贈呈
受賞者:3名(最優秀賞1名、優秀賞2名)

○ 優良紀州材展(3月)

大消費地にて紀州材の製材品の特別市を開催
・場所:東京中央木材市場(千葉県)

○ 紀州材・家づくりフェア(6月、10月)

紀州材で建てる家づくりを普及するために、県内の製材所と工務店が家づくりに関する相談会を開催
・場所:ららぽーと和泉(2回開催)

○ 紀州材ベストユーザー賞表彰式(10月)

県外において、紀州材を積極的に利用している企業等に対し、表彰状を贈呈
受賞者:1社(大賞)

○ 大紀州材展(10月)

大消費地にて紀州材の製材品の特別市を開催
場所:丸宇木材市場(千葉県)

○ 「企業の森」調印式(通年)

企業や労働組合などの方々に社会・環境貢献活動の一環として森林の保全に様々なかたちで取り組んでいただく事業

- ・株式会社浅川「紀美野 あさかわの森」@紀美野町中田
- ・株式会社長谷エコーポレーション「長谷工の森林」@田辺市中辺路町真砂
- ・富士通株式会社「富士通グループの森Ⅱ(仮称)」@田辺市龍神村広井原
- ・和歌山オールトヨタ「和歌山オールトヨタ やすらぎの森」
構成企業: ネットトヨタ和歌山株式会社、和歌山トヨタ自動車株式会社、和歌山トヨペット株式会社、
トヨタカローラ和歌山株式会社、トヨタ部品大阪共販株式会社 @田辺市龍神村殿原
- ・わかやま市民生活協同組合「コープきょうどうの森(仮称)」@新宮市新宮字檜山
- ・フジ住宅株式会社「フジ住宅の森」@日高川町山野

○ 「企業の森」森林保全活動(通年)

- ・株式会社浅川組「紀美野あさかわの森」@紀美野町中田
- ・パナソニック株式会社エコソリューションズ社「パナソニック・田辺龍神ながきの森」
@田辺市龍神村甲斐ノ川
- ・積水ハウス株式会社「積水ハウスの森」@田辺市中辺路町近露
- ・日本たばこ産業株式会社「JTの森 中辺路」@田辺市中辺路町野中
- ・西日本高速道路株式会社、西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社「つなぎの森」
@田辺市龍神村甲斐ノ川
- ・丸紀木材工業株式会社「60年 感謝の森」@日高川町愛川
- ・関西電力労働組合和歌山地区本部「関労和歌山いこいの森」@田辺市本宮町上切原
- ・株式会社長谷エコーポレーション「長谷工の森林」@田辺市中辺路町真砂
- ・大東化成工業株式会社「笑顔の森-DAITO KASEI-」@田辺市中辺路町真砂
- ・西日本電信電話株式会社和歌山支店「輝きの森」@田辺市龍神村甲斐ノ川
- ・株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ関西支社「ドコモ紀の国・明恵峡の森」@有田川町修理川
- ・株式会社パンジー「パンジーまごころの森」@田辺市中辺路町温川
- ・三菱電機株式会社冷熱システム製作所「みつびしでんき・有田川の森」@有田川町大字川合

- ・セイカグループ「セイカの森」 @日高川町大字愛川
- ・日本ルナ株式会社「日本ルナの森」 @紀の川市中畑
- ・本州化学工業株式会社「本州化学の森・日高川」 @日高川町大字田尻
- ・新日鐵住金株式会社和歌山製鐵所「新日鐵住金 和歌山の森」 @田辺市中辺路町野中
- ・ユニチカユニオン「ユニチカの森」 @日高川町三十木及び高津尾
- ・全国共済農業協同組合連合会和歌山県本部「JA共済 絆の森」 @日高川町愛川
- ・紀陽銀行・紀陽銀行従業員組合「紀陽の森」 @田辺市鮎川
- ・和歌山県信用保証協会「信用保証の森」 @有田川町川合
- ・有限責任監査法人トーマツ「トーマツの森」龍神」 @田辺市龍神村安井
- ・花王株式会社和歌山工場「花王の森 おいし」 @紀美野町梅本
- ・和歌山県オールドヨタ「やすらぎの森」 @田辺市龍神村甲斐ノ川
- ・富士通株式会社「富士通グループ・紀州龍神せせらぎの森Ⅱ」 @田辺市龍神村広井原

○ 「わかやま森林と樹木の日」記念行事の開催(5月)

平成23年開催の第62回全国植樹祭in和歌山を契機に全国植樹祭の意義を後世に伝え、県民みんなで和歌山の森林や樹木を守り育て、緑豊かな和歌山を将来に引き継いでいくため、「わかやま森林と樹木の日」記念行事を開催

・場所:和歌山市深山 瀬戸内海国立公園多目的広場、参加者:緑の少年団等約200名

○ エコプロ2018出展(12月)

環境への関心の高いビジネスパーソンや一般消費者、行政・自治体、NPO、環境教育を目的とした学生、報道関係者など、環境を取り巻く多様なステークホルダーが一堂に集う他に類を見ない展示会「エコプロ2018(第20回)SDGs時代の環境と社会、そして未来へ」に「企業の森」を出展
東京ビックサイト

③ 水産業の振興

○ 漁業複合経営グループ創出事業の推進

既存の漁業に加えて、グループで新たな漁業に取り組む複合経営を開始(2地区)

④ 農林水産業の担い手の育成・確保

○ 農業経営発展セミナー開催(7、8、11月)

経営発展の気運醸成を図るため、成功者によるセミナー及び座談会を開催

第1回 7月(有田地域)、第2回 8月(日高地域)、第3回 11月(那賀・伊都地域)

○ わかやま農業MBA塾開講(7月)

・農業経営者として必要な能力の修得を目指す農業経営塾

・地域農業をけん引する強い経営体を育成

受講生:22名

⑤ その他

○ 平成30年度夏休み食の安全親子教室～食品工場へ行ってみよう～(8月)

消費者、食品事業者、県が協働したリスクコミュニケーションの一環で、食品工場の施設見学を通じて衛生対策を学ぶ講座を実施

場所:(株)たにぐち 日高川工場

4. 観光の振興

① 和歌山の魅力を磨く

○ わかやまサイクリングフェスタ2018(3月)

紀の川サイクリングロードと世界遺産高野山を含む紀北地域で大規模サイクリングイベントを開催
・場所: 和歌山マリーナシティ、参加者数: 925名

○ 参詣道環境保全トレッキング(7月、10月、11月)

参詣道を良好な状態で後世へ引き継ぐための保全活動しながらトレッキングを実施し、世界遺産に対する保全・活用の意識醸成

- ・7月21日 高野参詣道町石道(高野町)、参加者: 138名
- ・10月6日 熊野古道大辺路富山平見道(串本町)、参加者: 160名
- ・11月17日 熊野古道大辺路長井坂(すさみ町)、参加者: 160名

② 和歌山へ招く

○ ロンリープラネットにおける和歌山観光キャンペーン(1月)

世界的旅行ガイドブックであるロンリープラネットのウェブサイト(Lonely Planet.com)において、和歌山県観光キャンペーンを実施

○ 外国人宿泊者数(平成29年横ばい)(3月)

平成29年の和歌山県への外国人宿泊者数は、世界遺産エリアである高野町、田辺市、那智勝浦町等が過去最高を記録し、475, 628人泊

○ 訪日教育旅行誘致体制強化のための「教育旅行コーディネーター」の新設(4月)

将来の来県リピーターとなることが期待できる若年層市場を開拓する目的で国内外の教育旅行の誘致を強化するため、元県立高等学校長(英語)が務める「教育旅行コーディネーター」を新設

○ 高野・熊野地域通訳案内士(和歌山県版通訳ガイド)(5月)

平成24年度より総合特別区域法に基づく『和歌山県「高野・熊野」文化・地域振興総合特区』計画により、高野・熊野地域を案内できる地域通訳案内士登録制度を実施。平成29年度(第6期生)は英語27名の他、新たに中国語5名、フランス語1名、スペイン語2名の地域通訳案内士が誕生

○ 和歌山県で唯一の観光大使 EGL TOURS袁さんの和歌山県知事表彰 記念講演会を開催(6月)

香港EGLTOURSの袁さんに和歌山県で唯一の観光大使にご就任いただいて5周年を迎えた本年、5年間の功績をたたえ和歌山県知事表彰を贈呈し、記念講演会を開催

○ CNNウェブサイトでの和歌山観光キャンペーン(6月)

世界的ニュースネットワークであるCNNのウェブサイトにおいて、和歌山県観光キャンペーンを実施

○ BBCウェブサイトでの和歌山観光キャンペーン(6月)

世界的ニュースネットワークであるBBCのウェブサイトにおいて、和歌山県観光キャンペーンを実施

○ 欧州最大のスポーツメディアでの和歌山観光キャンペーン(6月)

欧州最大のスポーツメディア、EUROSPORTのオンライン(Eurosport.com)において、和歌山県観光キャンペーンを実施

- 観光WEBサイト「Nightlife in WAKAYAMA」の開設(9月)

和歌山を訪れる観光客に夜の楽しみ方を紹介するWEBサイトを開設し、夜の娯楽となるイベントや体験、飲食店情報をエリア別に掲載する等総合的なPRを実施。観光客の夜間の周遊促進と旅行消費額の拡大を図る。また、サイトへの誘導として各種HPへのバナー掲載、印刷物へのQRコード掲載、スマートプレートの宿泊施設への設置を実施
- タイ国政府観光庁との観光交流促進に係る趣意書締結(11月)

タイ国政府観光庁と和歌山県及びタイ国における観光交流の促進に向けた事務レベルのルートを確認することを確認し趣意書を締結
- 【再掲】キャッシュレスセミナーの開催(11月)

キャッシュレス環境の整備を推進し、特に増加する中華系旅行者の消費額の拡大に向けてキャッシュレスセミナーを県内3箇所で開催

 - <和歌山> 11月12日
 - <西牟婁> 11月13日
 - <東牟婁> 11月14日
- わかやま歴史物語(3月～)

神話の時代から近代に至るまで、県内各地に所在する歴史スポットや、歴史にまつわる秘話、インスタ映えスポット、食・温泉・体験など、本県の歴史と旅の楽しみ方をまるごと紹介する「わかやま歴史物語」をウェブサイトや冊子(概要版)によりPRし、県内外からの誘客を促進する。
10月1日から「わかやま歴史物語」の舞台を巡るスタンプラリーを実施
- 世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサート2018(9月)

毎年、世界遺産「高野・熊野夢舞台」と銘打ち、世界遺産を舞台にコンサート等を開催するとともに、世界遺産を中心に所在地域の魅力を各種メディアを介して全国に情報発信することで、当該地域への更なる誘客を図る。
場所:熊野本宮大社 旧社地「大斎原」、出演者:クミコ(シャンソン歌手)
- 水の国、わかやま。プレミアムツアー(10月)

「水」という意外性のあるテーマを切り口に、まだ知られていない和歌山の魅力を発信する「水の国、わかやま。」キャンペーンの一環で、アンバサダー的な役割を務めていただいているネイチャー・フォトグラファーの内山りゅうさんの案内で「水の国、わかやま。」プレミアムツアーを紀南エリアで実施。同氏のトークショーも東京で開催(9月)
- WAKAYAMA800 モバイルスタンプラリーを実施(8月～)

県全域で800kmを超えるサイクリングロードの周遊促進を目的に、県内45か所にチェックポイントを設置し、サイクリスト向けのモバイルスタンプラリーを実施
- 世界的に著名な元ロードレーサーの招聘(11月)

世界的に著名な元ロードレーサーであるアルベルト・コンタドール氏を招聘し、同氏のSNSなどにおいて、県内のサイクリングロードや観光資源、地場産業など和歌山県の魅力を世界に発信
- 和歌山県内へのクルーズ船の寄港実績(通年)
 - ・ 1月6日 新宮港 につぼん丸
 - ・ 1月7日 新宮港 ぱしふいっくびいなす
 - ・ 3月14日 新宮港 飛鳥II
 - ・ 3月27日 和歌山下津港 ぱしふいっくびいなす

- ・ 4月16日 新宮港 スター・レジェンド
- ・ 4月27日 新宮港 コスタネオロマンチカ
- ・ 5月2日 新宮港 スター・レジェンド
- ・ 5月12日 新宮港 コスタネオロマンチカ
- ・ 6月9日 新宮港 コスタネオロマンチカ
- ・ 7月21日 新宮港 にっぽん丸
- ・ 8月18日 新宮港 ぱしふいつくびいなす
- ・ 9月28日 新宮港 スター・レジェンド
- ・ 10月14日 新宮港 スター・レジェンド
- ・ 11月10日 新宮港 ぱしふいつくびいなす
- ・ 11月15日 新宮港 ぱしふいつくびいなす
- ・ 11月23日 新宮港 飛鳥Ⅱ
- ・ 11月24日 新宮港 コスタネオロマンチカ

③ 和歌山でもてなす

○ 高野・熊野地域通訳案内士(和歌山県版通訳ガイド)第7期受講者募集(9月)

平成24年度より総合特別区域法に基づく「和歌山県「高野・熊野」文化・地域振興総合特区」計画により、高野・熊野地域を案内できる地域通訳案内士登録制度を実施

○ 医療観光研究会(通年)

外国人観光客が急増する中、高度医療健康診断、健康増進等を希望する外国人を対象に、医療と観光を組み合わせた誘客の可能性を研究することを目的として、学識経験者、医療関係者、観光事業者等で構成する「医療観光研究会」を開催

○ 外国語話せませす！関西おもてなしバッジ(通年)

一般財団法人関西観光本部では、関西を訪れる外国人観光客に対するボランティア活動をより強化するため「外国語話せませす！関西おもてなしバッジ」の配布を平成29年7月から開始。本県も、この活動に賛同し、県内を訪れる外国人観光客へのおもてなし向上を目指すため、県内のホテル・旅館等の宿泊施設、交通事業者、観光事業者、通訳案内士等に対して、積極的な同バッジの普及・着用を図っている。12月1日時点で、694名(774個)が登録

○ 多言語電話通訳・簡易翻訳サービス(通年)

平成28年8月から、急増する外国人観光客とのコミュニケーション向上のため多言語電話通訳・簡易翻訳サービスを実施。平成30年度も引き続き、県内観光関係事業者、市町村消防本部及び和歌山県警を対象にサービスを提供。12月1日時点で、162事業者が登録

○ 和歌山おもてなしトイレ大作戦(通年)

県、市町村及び鉄道事業者等の官民が協働して、観光地における公衆トイレの整備を実施

○ おもてなしトイレ美観維持のためのトイレ清掃講習会の開催(7～8月)

花王グループと協力し、おもてなしトイレの清掃や維持管理を行う市町村担当、地域のボランティアやシルバー人材センター等の皆様を対象に県内7箇所でトイレ清掃講習会を開催
和歌山市・海草地域、那賀地域、伊都地域、有田地域、日高地域、西牟婁地域、東牟婁地域

○ 熊野外国人観光客交通対策推進協議会による共通整備ガイド策定・現場整備(通年)

県では「熊野外国人観光客交通対策推進協議会」を設立し、複数の交通事業者が連携して整備を進めるための方針となる「共通整備ガイド」を策定した。
これに基づき、乗換のポイントとなる交通拠点を5つ設定し、二次交通の乗車場所までの案内情報、主要バス停の案内情報の充実など、現場の整備に取り組んでいる

5. 時代の潮流を踏まえた産業の新しい発展

① データ利活用の促進

○データ利活用シンポジウム(2月)

県民のデータ利活用に関する意識の向上やデータ利活用の重要性・有用性を全国に発信することを目的としてシンポジウムを開催

○和歌山県データ利活用推進センター開所式(4月)

公的統計データをはじめとする様々なデータ利活用の推進やそれを支えるデータ利活用人材の育成の拠点として設置する「和歌山県データ利活用推進センター」が開所

○高校生向けデータ利活用特別講義の開催(8月)

県内の高校生を対象として、データ利活用に関する高度な内容の講義(大学講義相当)を体験する機会を提供するため、特別講義を開催

○データサイエンス分野における連携協定を締結(12月)

総務省統計局、独立行政法人統計センター及び国立大学法人和歌山大学とデータサイエンス分野における連携協力に関する協定を締結

○統計思想の普及・啓発

・統計関係者の士気高揚と統計思想の普及・啓発を図るため、平成30年度和歌山県統計大会を開催

場所:アバローム紀の国、参加者:170名

・データやグラフを通じてふるさと和歌山県を知り、統計に親しんでもらうため、小中学生を対象とした統計出前授業「統計っておもしろい!数字でみる和歌山」を17校で実施

・統計データ利活用冊子「統計のおはなし」を作成し、和歌山県内全ての小学6年生約8,000人へ配布した

○「統合型リゾート(IR)シンポジウム」を開催(1月)

世界の多様なIR事例や国による制度設計の見通しなど、正確な情報を県民の方々に提供するとともに、地域の特性を生かした地方型IRの有用性・必要性を全国に発信することを目的として開催

・場所:和歌山県民文化会館、来場者:300人超

○「和歌山県IR基本構想」を策定(5月)

本県が進めるリゾート型IRについて、IRとは何か、国の法案や本県への誘致の必要性、効果、県が目指すコンセプト、全国とも競争できる本県の高いポテンシャル等に加え、依存症などの課題対策をとりまとめたIR構想を策定、公表

○「統合型リゾート(IR)シンポジウム」を開催(5月)

・IRにおける国の動向やIR導入の効果など、正確な情報を県民の方々に提供するとともに、地域の特性を生かした地方型IRの有用性・必要性を全国に発信することを目的として開催

・場所:ダイワロイネットホテル和歌山、来場者:約300人

○ 和歌山県IRに関する投資意向調査(RFI)を実施(5月)

- ・「和歌山県IR基本構想」の策定を受け、本県でのIR開発に参画を検討している民間事業者から幅広くアイデアを募集する投資意向調査(Request For Information)を8月末を締切として実施
提案者数: 計33社 (内訳)海外事業者7社、国内事業者26社

○ 和歌山県IR誘致推進プロジェクトチームを設置(7月)

IR誘致を全庁一体となって推進することを目的として、庁内横断のプロジェクトチームを設置

○ 統合型リゾート(IR)誘致推進に向けた体制整備(9月)

- ・ 特定複合観光施設区域整備法の成立を受け、本県におけるIR誘致推進に向けた体制を整備するためIR推進室を設置
- ・ 8名体制、室長は企画総務課長が兼務

○ 和歌山県IR基本構想を改訂(10月)

本県が進めるリゾート型IRについて、8月末を締切として実施した投資意向調査(RFI)で提出された事業者提案の結果をもとに、「和歌山県IR基本構想」を改訂、公表

○ 「統合型リゾート(IR)シンポジウム」を開催(10月)

- ・ 「和歌山IR基本構想」の改訂に関する発表や、IRがもたらす地域への効果など、正確な情報を県民の方々に提供するとともに、地域の特性を生かしたIRの有用性・必要性を全国に発信することを目的として開催
- ・ 場所: ダイワロイネットホテル和歌山、来場者: 約350人

② 国際化を踏まえた産業の新しい発展

○ 対EU輸出水産食品取扱施設の認定 ～串本からヨーロッパへ 養殖本鮪を輸出～

EUが求めるHACCPに基づく衛生管理及び施設設備等の要件を満たすことから、串本食品株式会社を対EU輸出水産食品取扱施設に認定

VI いのちを守る

1. 自然災害への備え

① 「災害による犠牲者ゼロ」の実現

○ 和歌山県自主防災組織情報連絡会情報交流会(2月)

大規模災害に備え、地域の防災活動の活性化を目的として、自主防災組織や地域のリーダーの方々などを対象に、和歌山県自主防災組織情報連絡会による「情報交流会」を開催
参加者数 170名

○ 「和歌山県防災ナビ」アプリの提供(5月)

南海トラフ地震などの大規模災害時の的確な避難を促進するため、防災ポータルアプリ「和歌山県防災ナビ」の配信を開始
・アプリの主な機能: 避難先検索、防災情報のプッシュ通知、家族が避難している場所の確認、避難トレーニング など

○ 自主防災組織の活動の日(6月)

・県内の自主防災組織で組織している「和歌山県自主防災組織情報連絡会」において、平成28年度より毎年6月1日を「自主防災組織の活動の日」と設定
・集中活動期間(5月26日～6月8日)を中心に、県内各地で自主防災組織が防災訓練や防災学習を実施

○ 和歌山県市町村長防災危機管理ラボ(7月)

市町村長の危機管理意識の向上を図るため「和歌山県市町村長防災危機管理ラボ」を開催

○ 第27回和歌山県消防操法大会(8月)

消防団員の士気の高揚と消防技術の向上を図り、もって消防力の充実強化を期し、併せて消防団員相互の親睦交流を深めることを目的として大会を開催
場所: 和歌山県消防学校、参加者: 約1,700人

○ 地域防災リーダー育成講座「紀の国防災人づくり塾」(9～12月)

地域の自主防災組織や企業等の各種団体で防災の中心的な担い手となる「地域防災リーダー」を育成し、地域防災力の向上を図るため、防災に関する知識・技術を学ぶ講座を開催
場所: 和歌山市役所・田辺市役所、修了者数: 合計147名

○ 平成30年度和歌山県津波災害対応実践訓練(10月)

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、関係機関と連携した救助活動などの訓練を実施
・実施場所: 県庁南別館、田辺市、白浜町、すさみ町、太地町、串本町
・参加機関: 防衛省自衛隊、国土交通省近畿地方整備局、海上保安庁、和歌山県警察、県内関係消防本部、紀南建設業協同組合、県内DMAT隊、日本赤十字社和歌山県支部、和歌山東漁業協同組合、株式会社NTTドコモ、ソフトバンク株式会社、関西電力株式会社、近畿総合通信局、田辺市、白浜町、すさみ町、太地町、串本町、関係市町住民等

○ 津波防災講演会(11月)

11月5日の「世界津波の日」「津波防災の日」を記念して、県民の防災意識の向上を目的とした津波防災講演会を開催（今年度は、『「世界津波の日」2018高校生サミットin和歌山』の中で開催）
場所: 和歌山ビッグホエール、参加者数: 約1,000名

○ 濱口梧陵国際賞授賞式・記念講演会、広川町への受賞者招へい(11月)

・沿岸防災技術分野で顕著な功績を挙げた国内外の個人または団体を表彰
・翌日、受賞者を広川町へ招へい

○ 「世界津波の日」地震・津波避難訓練(11月)

地震・津波に対する防災意識の高揚を図るため、県内全域を対象とする地震・津波避難訓練を「世界津波の日」に合わせて実施。

実施場所: 県内全域

参加機関: 市町村、保育所、幼稚園、小中学校、高等学校、自治会、自主防災組織、福祉施設、事業所等

○ 石油コンビナート等総合防災訓練(11月)

地震災害時において、石油コンビナート区域で発生する可能性がある災害に対応するため、関係機関及び関係事業所が共同して訓練を行い、災害が発生した場合の迅速かつ円滑な応急対策の方法について確認するとともに、防災意識を高め、各防災関係機関・事業所相互における協力体制の強化を図ることを目的として実施。

場所: コスモ石油ルブリカンツ(株)下津工場、参加機関: 海南市、和歌山北部臨海広域消防協議会 等

○ 「世界津波の日」2018高校生サミットin和歌山(10、11月)

「世界津波の日」啓発イベントとして、地震津波等の災害から生命・財産を守る次世代リーダーの育成を図るため、世界各国の高校生を対象に「世界津波の日」高校生サミットを開催

日程: 10月31日～11月1日

場所: 和歌山ビッグホエール

参加国数、参加者数: 48か国、479名(日本を含む)

○ 平成29年度「平成の寺子屋」防災イベントin 広川町(2月)

「平成の寺子屋」は、有田地域各市町と有田振興局が共同で、地域住民を対象として、防災に関する実践的な知恵や心構えを学ぶ機会を提供する防災啓発イベント。そこで得た知識と技能を各自の地元に戻していただくことで、有田地域全体の防災意識の高揚につなげることを目的として実施

・場所: 広川町役場、参加者: 自主防災組織の代表者及び地域住民(約70名)

○ 県災害対策本部日高支部図上訓練の実施(9月)

近い将来必ず発生すると言われている「東海・東南海・南海地震」に備えるため、防災関係機関相互の連携を深めるとともに、迅速かつ的確に対応できる体制の確立を図るための訓練を実施

・参加機関: 振興局各部、地方機関、県危機管理局、管内1市6町、消防、警察、自衛隊、田辺海上保安部、参加人数: 77名

② 発災直後の迅速な救助体制と早期復旧体制の確保

○ 孤立集落通信訓練(1月)

災害時に孤立の可能性がある集落へ配備している防災行政無線等の状態確認や操作方法の習熟を図る通信訓練を実施

○ 物資輸送・災害情報収集伝達訓練(11月)

大規模災害時における救援物資の輸送等について、実際に広域防災拠点を開設して救援物資の受入等を行い、災害時の対応の確認を行うとともに、職員の対応能力の向上と関係機関との連携強化を図ることを目的に訓練を実施

場所: 新宮市立佐野体育館、県庁南別館、東牟婁総合庁舎、参加市町村庁舎

参加機関: 新宮市、那智勝浦町、北山村、(公社)和歌山県トラック協会、和歌山県倉庫協会、(株)オークワ、和歌山県生活協同組合連合会、わかやま市民生活協同組合

○ 避難所運営リーダー養成講座(通年)

大規模災害時の避難所運営を円滑に行えるよう、自主防災組織の代表者及び市町村の避難所派遣職員などを「避難所運営リーダー」として養成するため、各市町村において講座を実施

開催市町: 橋本市、串本町、田辺市、九度山町、高野町、御坊市、有田川町、すさみ町、海南市、日高川町、かつらぎ町、岩出市

○ 災害医療救護訓練の実施(11月)

大規模災害発生時の健康危機管理を想定した関係機関合同による災害医療救護訓練を実施
・場所:御坊保健所、管内4病院、参加人数:約450人(26機関)

③ 県民生活の早期再建と地域のより良い復興

○ 「復興計画事前策定の手引き」策定(2月)

南海トラフ巨大地震等の大規模災害の発生に備え、被災後の迅速でより良いまちの復興を可能とするため、市町村が復興計画の事前策定を進めていくための指針となる手引きを策定

2. 医療の充実と健康の維持

① 医療人材の育成・確保

○ 和歌山県立医科大学薬学部の設計が完了し、建設工事が始まる(通年)

2018年6月に実施設計が完了し、2019年1月から和歌山市の中心部・伏虎キャンパス(和歌山市立伏虎中学校跡地)に薬学部校舎、2019年4月から紀三井寺キャンパスに医薬看共同研究施設の建設工事に着手する。2021年4月の開設を目指す。

○ 東京医療保健大学和歌山看護学部 入学式(4月)

地域医療の担い手として専門性の高い知識と確かな技術を身につけ、広い視野で人と地域を支える看護職を育成する「東京医療保健大学和歌山看護学部」が誕生、一期生104名が入学

○ 学校法人平成医療学園 宝塚医療大学和歌山保健医療学部(仮称)設置に係る協定締結式(10月)

和歌山県と学校法人平成医療学園が、当該学校法人が2020年4月に開設を予定している宝塚医療大学和歌山保健医療学部(仮称)の設置について、互いに連携・協力していくことを目的とした協定を締結

② 健康づくりの推進

○ 「みんなで実践!健康づくり運動ポイント事業」自治会参加型ランキング表彰式(7月)

自治会主催のラジオ体操や清掃活動等にポイントを付与し、地域ぐるみで楽しく運動習慣の定着をめざす「みんなで実践!健康づくり運動ポイント事業」自治会参加型ランキング(平成29年10月開始)について、平成29年度年間累計ランキング結果に基づき、上位の自治会に表彰状及び記念品を贈呈
受賞団体:5自治会

○ 自殺対策トップセミナー(7月)

市町村における自殺対策計画の策定を推進するため、市町村長を対象に自殺の状況及び自殺対策等に関するセミナーを開催

場所:アバローム紀の国

参加:市町村長、自殺対策関係課長・担当者、自殺対策関係団体など:122名

○ 【再掲】わかやま健康と食のフェスタ2018(10月)

健康推進や食育に携わる団体、企業等と連携し、健康に関する特色のある活動の紹介や自らの健康状態を把握できる体験の場を提供することで、県民の健康意識の高揚を図り、健康寿命の延伸につなげるとともに、県の農畜水産物や郷土食などを知ることと和歌山のすばらしい食を実感し、食育・地産地消を推進する。本年度は、参加団体を拡充し、67団体で開催するとともに、新たに県内全市町村の健康づくりの取組紹介、さらに、ニュースポーツ体験やウォーキング講座・ウォーキング体験などを実施

場所:和歌山ビッグウエーブ、来場者:8,000人

3. 安全な社会の実現

① 治安・交通安全の向上

○ サイバー犯罪対策課の新設(4月)

サイバー空間における安全・安心を確保するため警察本部生活安全部にサイバー犯罪対策課を新設

○ 子供の性被害防止プラン(「SSS(スリーエス)和歌山対策」)の展開(通年)

全国的に深刻化が懸念される子供の性被害に対し、警察、関係機関・団体が共通の認識の下で、各種対策を講じるため、独自の呼称「SSS和歌山対策」を設定し、被害防止、広報、サイバー補導の強化等、各種対策を推進。

※ SSS=Stop Child Sexual Suffering

平成30年中(11月末現在)

広報・啓発(県下14署) 140件

サイバー補導 7件7名

○ 飲酒運転根絶県民運動2018を展開(通年)

平成29年中の死亡事故の飲酒率が17.1%(全国平均6.3%)を占め、全国ワースト1になったことを受けて、警察等関係機関と連携して飲酒運転根絶県民運動2018を実施

ステッカー、バッジを配布して県民や飲食店等へ啓発を実施。飲酒運転根絶対策推進会議の開催(6月)、飲酒運転根絶県民フォーラムの開催(8月)

② その他の危機事象への対応力向上

○ 和歌山県国民保護共同図上訓練の実施(1月)

テロ事案発生時の初動措置の確認や対処能力の向上を図るため、対策本部の設置や県民の安全確保、避難救助等の図上訓練を実施

・実施場所: 県庁南別館、和歌山市消防局庁舎

・参加機関: 内閣官房、消防庁、自衛隊、海上保安庁、和歌山県警察、和歌山市等41機関

VII 暮らしやすさを高める

1. 快適な生活環境の実現

① 循環型社会の構築

○ 産業廃棄物運搬車両に対する路上検査の実施(1月～10月)

産業廃棄物の不法投棄等不適正処理の未然防止のため、産業廃棄物運搬車両に対する路上検査を実施

○ スカイパトロールの実施(11月)

廃棄物の不法投棄を監視することを目的に、和歌山県警と合同で県警ヘリコプターによる空域からの監視パトロールを実施

② 消費者の安全確保

○ 平成30年度夏休み食の安全親子教室～食品工場へ行ってみよう～(8月)

消費者、食品事業者、県が協働したリスクコミュニケーションの一環で、食品工場の施設見学を通じて衛生対策を学ぶ講座を実施

場所:(株)たにぐち 日高川工場、参加者:小学生17名、保護者16名

○ 第二次和歌山県消費者教育推進計画の策定(3月)

消費者を取り巻く状況の変化とこれまでの取組の評価と課題を踏まえ、より一層効果的な消費者教育を推進するための計画を策定するとともに、消費者教育フォーラムを開催

○ 生活教養講座(9～10月)

衣・食・住生活全般に必要な基礎知識を学ぶ連続講座を全8回実施

参加者:延べ274人

2. 支え合う福祉の充実

① 高齢者福祉の推進

○ 介護サービスの充実

・ 高齢者が安心して暮らせるよう、施設等への入所を望む高齢者に対応するための施設整備等を推進

・ 介護が必要になっても再び自立した生活を送れるようにするため、自立支援型ケアを推進する市町村を支援

○ 高齢者等の安心確保

・ 在宅で生活する認知症の人と家族を地域で見守る認知症サポーターを養成

・ 65歳未満で発症した認知症の人やその家族に対して、若年性認知症支援コーディネーターの配置による支援や交流会を実施

○ 高齢者の暮らしを見守る体制の充実

・ 高齢者等の見守り協力に関する協定を締結(7月)

一人暮らしの高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、今年度新たに一般社団法人和歌山県LPガス協会、わかやま市民生活協同組合と協定を締結

締結事業者数:10事業者(H25～H30)

・ 高齢者の見守り活動功績者知事感謝状贈呈式(10月)

地域見守り協力員や県と見守り協力に関する協定を締結している事業者の方々と、これまでの見守り活動で人命救助など特に功労のあった方々に対し知事感謝状を贈呈

受賞者:地域見守り協力員 8人

協定締結事業者社員等 16人

② 障害者福祉の推進

○ 障害者スポーツの振興

- ・ 第18回和歌山県障害者スポーツ大会を開催。延べ約1,000人が参加。

卓球	5月13日
アーチェリー	5月13日
ボウリング	5月13日
開会式・陸上競技	5月20日
水泳	6月3日
フライングディスク	9月30日 ※天候不順のため、平成31年2月に延期

- ・ 「第18回全国障害者スポーツ大会福井しあわせ元気大会」に、個人競技(6競技)に25名が出場し、計28個(金13、銀8、銅7)のメダルを獲得。団体競技では、近畿地区予選会を初めて突破したバレーボール(知的障害者の部)女子チーム7名が準優勝。(10月)

○ 【再掲】第1回和歌山県障害者作品展

文化芸術活動を通して障害のある人の社会参加を図るとともに、障害のある人とない人が交流することで障害に対する理解と認識を深めることを目的とした作品展を開催

【地方展】

紀中・紀南地方展	期間	10月17日～21日	場所	白浜町立総合体育館
和歌山・海草地方展	期間	11月8日～13日	場所	和歌山市北コミュニティセンター
那賀・伊都地方展	期間	11月23日～28日	場所	かつらぎ総合文化会館

【優秀作品展】

期間	12月5日～10日
会場	和歌山県民文化会館

○ 障害のある人が暮らしやすい社会づくり(通年)

- ・ 様々な障害の特性、障害のある人がこまっていることや必要としている配慮を理解し、サポートを実践する「あいサポート運動」を実施(平成30年10月末現在 あいサポーター累計8,372人養成)
- ・ 外見から障害や難病のあることがわからない人が周囲に援助や配慮を必要としていることを知らせる「ヘルプマーク」を交付(平成30年10月現在 累計交付枚数 3,279枚)

③ 困難を抱える家庭等へのきめ細やかな対応と自立支援

○ 子どもの貧困対策の推進

- ・ 「和歌山県子供の貧困対策推進計画」に基づき、子供の教育支援や生活支援、保護者の就労支援など、子供の貧困対策を総合的に推進
- ・ 【再掲】子供食堂など食事の提供を行う民間の取組を支援

④ 福祉人材の育成・確保

○ 介護人材の確保

- ・ 介護職場への参入促進を図るため、返還免除付きの貸付(介護福祉士修学資金貸付、実務者研修受講資金貸付、再就職準備金貸付)や高校生を対象とした原則無料で介護職員初任者研修を受講できる取組を実施
- ・ 介護職場の労働環境・処遇改善を図るため、介護事業者に対して処遇改善加算の取得促進を実施

VIII 地域を創る

1. 活力と魅力のあるまちづくり

① 和歌山が誇る豊かな自然の継承

○ 和歌山県の人と自然をつなぐシンポジウム(1月)

生物多様性の保全意識の普及・向上を図るため、「自然の源流」をテーマとしたシンポジウムを県民文化会館小ホールにおいて開催

○ 南紀熊野ジオパークの発信(2月)

・南紀熊野ジオパークの活動や、ジオパークと国立公園との連携などについて、住民の理解・協力・参加を促進し、持続可能な地域づくりを推進するため、第5回南紀熊野ジオパークフェスタを那智勝浦町体育文化会館において開催

② 和歌山が誇る文化遺産や景観の保存・保全と活用

○ 第5回東アジア農業遺産学会(8月)

農業遺産に関する東アジア地域の研究者や認定地域の関係者が一堂に会し、「世界農業遺産(GIAHS)と持続可能な社会」をテーマに、農業遺産の保全と活用に関する研究や認定地域の取組等について発表・情報を交換し、交流を深めた

場所: Hotel & Resorts WAKAYAMA-MINABEほか、参加者: 約400名

○ 日本遺産認定「百世の安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～(5月)

広川の防災遺産は、江戸時代、津波に襲われた広川町の人々が復興を果たし、日本の防災文化の縮図を浮かび上がらせたことが評価され、平成30年度日本遺産に認定

③ 個性豊かで暮らしやすい中山間地域づくり

○ 第1回ふるさと生活圏交流会(8月)

県内各地で地域の課題解決や活性化に取り組むふるさと生活圏(寄合会)の、情報交換及びネットワークづくりのための交流会を開催

場所: 天野交流センターゆずり葉(かつらぎ町)、参加者: 15生活圏・41名

○ 企業のふるさと覚書調印(9月)

過疎集落を応援する企業と地域の活性化に取り組むふるさと生活圏(寄合会)を県がマッチングし、覚書を締結

山崎製パン(株)3工場(大阪第二工場、阪南工場、大阪第二工場泉佐野事業所) × 麻生津生活圏(紀の川市)

○ 半島振興対策促進大会(10月)

全国の半島関係者が一堂に会し、関係国会議員や関係省庁に対し半島地域の個性ある自立的発展に向けたさらなる支援を求めた

場所: 東京

○ わかやま版「過疎集落支援総合対策」の実施(通年)

住民生活の一体性を重視したふるさと生活圏を対象に、日常生活機能の確保や地域活性化を総合的に図る取組を支援

平成30年度事業実施生活圏(1市2町3生活圏) 海南市 方・女良(かた・めら)生活圏、紀美野町 志賀野(しがの)生活圏、古座川町 七川(しちかわ)生活圏

④ 交流人口等の増加による地域の活性化

○ 大学のふるさと(3月)

都市部の大学が県内市町村と連携し、交流を通じた地域活性化に資する実践活動を行えるよう県がマッチングし、知事立会いのもと、連携協定を締結

・日高川町・桃山学院大学

○ 若年移住希望者「しごと」のある「くらし」体験事業(8月)

東京など大都市圏の若年者を対象に、都会との時間の使い方や働き方の違いを理解し、移住後の生活を実感してもらえるよう、地域での「しごと」を通じた生活体験ができる機会を提供
説明会参加者:東京162人、大阪71人

○ 「わがまち元気プロジェクト」の実施(通年)

継続事業として実施中の取り組み

・有田川“ぶどう山椒”Connectプロジェクト(有田川町 平成29年度～平成31年度)

・みなべ町「オリンピック新種目スポーツクライミングでスポーツのまちづくり」プロジェクト(みなべ町 平成28年度～平成30年度)

・いなみの魅力発信!『地産外商』プロジェクト(印南町 平成28年度～30年度)

30年度開始の取り組み

・濱口梧陵生誕200年～梧陵さんと広川町の魅力再発見～プロジェクト(広川町 平成30年度～32年度)

2. 地域をつなぐネットワーク

① 交通ネットワークのさらなる充実

○ シンポジウム「未来を創る交通インフラ」を開催(5月)

国土の強靱化と紀淡海峡ルート・四国新幹線を考えるシンポジウムを開催
場所:和歌山県民文化会館小ホール、参加者:350人

○ 地域公共交通研究会(10月)

人口減少や少子高齢化が進む中、地域の公共交通網を維持していくため、地域の実情に応じた持続可能な公共交通のあり方を考える機会として、行政と住民との意見交換等を実施
場所:和歌山県民文化会館、上富田文化会館、参加者:計96人

○ 道路網の整備

- ・一般国道370号 桂瀬松ヶ峯トンネル開通(3月)
- ・一般県道芳養清川線 面谷トンネル開通(3月)
- ・都市計画道路西脇山口線 田屋工区開通(3月)
- ・一般国道371号 龍神殿原工区全線開通(3月)
- ・一般県道芳養清川線 中芳養工区開通(3月)
- ・一般国道42号 串本太地道路新規事業化(3月)
- ・一般国道42号 すさみ串本道路起工式(4月)
- ・都市計画道路北島湊線 開通(6月)
- ・主要地方道白浜温泉線 開通(7月)
- ・主要地方道と歌山打田線 岩出橋の新橋の利用開始(7月)
- ・一般国道169号 奥瀬道路(Ⅲ期)起工式(11月)

○ 熊野参詣道(大辺路)特定景観形成地域の拡大(9月)

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の追加登録に伴い、白浜町及びすさみ町の一部を対象に指定している「熊野参詣道(大辺路)特定景観形成地域」を那智勝浦町の一部、太地町の全域及び串本町の一部区域まで拡大

○ 南紀白浜空港開港50周年記念式典(4月)

平成30年4月1日に開港50周年を迎えた南紀白浜空港において記念式典を開催
・場所:南紀白浜空港ターミナルビル前、来場者数:約120名

○ 南紀白浜空港民間活力導入事業の実施契約書締結(7月)

和歌山県と株式会社南紀白浜エアポート(経営共創基盤等が出資して設立した特別目的会社)が、南紀白浜空港民間活力導入事業に係る実施契約書を7月25日に締結

○ 南紀白浜空港開港50周年記念航空ショー(9月)

4月1日に開港50周年を迎えたことを祝賀し、これまでの空港利用への感謝と更なる認知度向上のため、ブルーインパルスによる航空ショーを開催

・場所: 白良浜、来場者数: 約50,000人(セレモニー出席者、一般来場者)

○平成18年12月以降の本県への企業立地動向

	企業名	立地場所
1	アイコム(株)	紀の川市
2	(株)NTN	上富田町
3	(株)松源	和歌山市
4	ペトロマテリアル(株)	和歌山市
5	アトラック(株)	橋本市
6	エアウォーター(株)	和歌山市
7	本州化学工業(株)	和歌山市
8	剤盛堂薬品(株)	和歌山市
9	恵和(株)	印南町
10	(株)タカショー	海南市
11	原田織物(株)	橋本市
12	(株)スミロン	日高川町
13	(株)オークワ	和歌山市
14	(株)ユアブレインズ	和歌山市
15	ビーウィズ(株)	和歌山市
16	恵和(株)	御坊市
17	大輪産業(株)	橋本市
18	(株)アルバック	橋本市
19	亀宝倉庫(株)	和歌山市
20	(株)NMソルト	和歌山市
21	南海化学(株)	和歌山市
22	ミナベ化工(株)	みなべ町
23	パナソニック(株)AIS社	紀の川市
24	辻岡運輸(株)	和歌山市
25	新日鐵住金(株)	和歌山市
26		和歌山市
27	和興建産(株)	和歌山市
28	太陽食品(株)	和歌山市
29	極東化成工業(株)	岩出市
30	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
31	関戸運輸(株)	和歌山市
32	アドバン工業(株)	和歌山市
33	(有)久保田エンジニア	紀の川市
34	(株)ホタニ	紀の川市
35	(株)エスアールアイ	海南市
36	ペトロマテリアル(株)	和歌山市
37	東京製綱(株)	和歌山市
38	(株)マルテン天満屋	日高川町
39	(株)コズミックランド	白浜町
40	大阪富士工業(株)	和歌山市

	企業名	立地場所
41	笠野興産(株)	和歌山市
42	(有)コバタ総合研究所	橋本市
43	田辺金属工業(株)	田辺市
44	朝日オリコミ和歌山	和歌山市
45	(株)中井鉄工所	橋本市
46	(株)しんこう技研	紀の川市
47	旭精機(株)	橋本市
48	(株)NMソルト	和歌山市
49	木本産業(株)	有田市
50	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
51	太洋工業(株)	和歌山市
52	住友精密工業(株)	和歌山市
53	花王(株)	和歌山市
54	エアウォーター(株)	和歌山市
55	南海化学工業(株)	和歌山市
56	(株)三晃精密	橋本市
57	(株)ふみこ農園	有田市
58	(株)テクノ・アシスト	紀の川市
59	棒引製材	みなべ町
60	白光印刷	和歌山市
61	林化成(株)	橋本市
62	(株)見果てぬ夢	田辺市
63	大日本除虫菊(株)	海南市
64	共同印刷(株)	有田川町
65	花王(株) ※研究施設	和歌山市
66	紀和化学工業(株)	紀の川市
67	三菱電機(株)	和歌山市
68	日建産業(株)	御坊市
69	豊国金属工業(株)	橋本市
70	ミナベ化工(株)	みなべ町
71	(株)ニッコク	岩出市
72	紀州ファスナー工業(株)	御坊市
73	(株)九重雑賀	紀の川市
74	(株)丸徳水産	和歌山市
75	ハグルマ(株)	紀の川市
76	藤本製薬(株)	御坊市
77	北広ケミカル(株)	橋本市
78	ヤマトコンタクトサービス(株)	和歌山市
79	日進化学(株)	橋本市
80	スターゼン西日本販売(株)	和歌山市

	企業名	立地場所
81	(有)日本鮎養殖	那智勝浦町
82	(株)串本マリンファーム	串本町
83	南紀串本水産(株)	串本町
84	東京製綱(株)	和歌山市
85	川口水産(株)	有田市
86	和歌山ガーデンクリエイト(株)	海南市
87	(株)ケー・ワイ・ビー	紀の川市
88	(株)イブバイオサイエンス	橋本市
89	中紀精機(株)	御坊市
90	(株)エス・ティー・ワールド	和歌山市
91	(株)赤井工作所	岩出市
92	(株)ユニカル	橋本市
93	クックスベスト(株)	那智勝浦町
94	(株)ゼネラルステッカー	田辺市
95	ナイス(株)	和歌山市
96	松林金属(株)	橋本市
97	(株)インテリックス	和歌山市
98	中部抵抗器(株)	紀の川市
99	富士香料化工(株)	橋本市
100	岡村製油(株)	橋本市
101	理工協産(株)	橋本市
102	(株)たにぐち	日高川町
103	川本化成(株)	和歌山市
104	(株)玉林園	和歌山市
105	(株)丸阪	橋本市
106	藤本食品(株)	岩出市
107	小川工業(株)	橋本市
108	北辰精工(株)	橋本市
109	(株)フューチュレック	海南市
110	(株)河鶴	みなべ町
111	橘電装工業(株)	和歌山市
112	(株)紀山	紀の川市
113	紀南パンジー(株)	上富田町
114	菱岡工業(株)	和歌山市
115	EH製菓(株)	田辺市
116	(株)エムジェイテック	橋本市
117	中辻産業(株)	橋本市
118	真和テック(株)	橋本市
119	ナカザワ建販(株)	紀の川市
120	(株)ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング	和歌山市

	企業名	立地場所
121	(株)山登化学	橋本市
122	大和歯車製作(株)	日高川町
123	南海スチール(株)	和歌山市
124	(株)九重雑賀	紀の川市
125	(株)竹中商店	田辺市
126	(株)プリントテクニカ	橋本市
127	メディスト(株)	白浜町
128	(株)興栄ケミカル工業所	橋本市
129	(株)早和果樹園	有田市
130	(株)インテリックス	和歌山市
131	中紀精機(株)	印南町
132	笠野興産(株)	和歌山市
133	太陽シールパック(株)	和歌山市
134	(株)ポタジエ	紀の川市
135	(株)サンコー	海南市
136	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
137	(株)セールスフォース・ドットコム	白浜町
138	(株)梅丹本舗	紀の川市
139	ライオンケミカル(株)	和歌山市
140	旭精機(株)	橋本市
141	(株)西日本建設物流	和歌山市
142	和歌山太陽誘電(株)	印南町
143	日本遠隔制御(株)	橋本市
144	クオリティ(株)	白浜町
145	毎日マーク(株)	橋本市
146	光栄ピーナッツ(株)	橋本市
147	デュプロ精工(株)	紀の川市
148	前田ロープ工業(株)	海南市
149	(株)食緑	新宮市
150	(株)寿精密	かつらぎ町
151	(株)サンオー	和歌山市
152	北広ケミカル(株)	紀の川市
153	澤田酒造(株)	橋本市
154	(株)菖蒲谷	湯浅町
155	ナギサビール(株)	白浜町
156	(株)インテリックス	和歌山市
157	NECソリューションイノベータ(株)	白浜町
158	(株)TREE	白浜町
159	日進化学(株)	橋本市
160	(株)玉林園	和歌山市

